

(単位:千トン)

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	実績	前年比	見込	前年比	予測	前年比
木造用 (1)	112	▲ 2.2%	108	▲ 3.4%	108	▲ 0.4%
ビル用 (2)	95	▲ 6.1%	93	▲ 2.9%	92	▲ 1.3%
アルミサッシ計 (1)+(2)=(3)	208	▲ 4.1%	201	▲ 3.1%	200	▲ 0.8%
ドア (4)	24	▲ 1.8%	24	0.9%	24	0.0%
エクステリア (5)	109	▲ 3.8%	111	1.5%	111	▲ 0.1%
アルミ製室内建具 (6)	36	0.6%	36	0.4%	36	0.0%
アルミ建材計 (3)(4)(5)(6)	377	▲ 3.4%	372	▲ 1.2%	371	▲ 0.5%

コメント

建築着工 平成29年実績および年度見込み

1. 木造住宅用サッシ関係指標

1). 平成29年1月～12月実績

新設住宅着工戸数は、暦年で965千戸(前年比▲0.3%)となりました。

新設住宅着工	965千戸	前年比	-0.3%
新設住宅着工	77,515千㎡	前年比	-0.9%
木造住宅	545千戸	前年比	-0.2%
非木造住宅	419千戸	前年比	-0.4%
木造住宅	50,346千㎡	前年比	-1.3%
非木造住宅	27,168千㎡	前年比	-0.1%
持家	284千戸	前年比	-2.7%
貸家	419千戸	前年比	+0.2%
分譲	255千戸	前年比	+1.9%

2). 平成29年度の見込み(4月～3月)

新築住宅着工戸数は、年度で954千戸(前年度比▲2.1%)と見込みました。

2. ビル用サッシ関係指標

1). 平成29年1月～12月実績

全着工建築物の床面積は、暦年で134,679千㎡(前年比+1.3%)となりました。

全着工	134,679千㎡	前年比	+1.3%
非木造	78,522千㎡	前年比	+2.8%
内非居住用	48,414千㎡	前年比	+3.9%

2). 平成29年度の見込み(4月～3月)

非木造用面積は、年度で77,400千㎡(前年度比▲0.1%)と見込みました。

アルミ建材需要 平成30年度予測

1. 木造住宅用サッシ

平成30年度住宅着工戸数は、消費税増税前の駆け込み需要から持家は前年より増加するものの貸家は減少すると予想し、全体では948千戸(前年度比▲0.7%)と見込み、うち木造住宅は548千戸(前年度比+0.4%)と想定しました。

しかしながら木造住宅用サッシの材質別構成比はアルミ樹脂複合製と樹脂製が増加し、アルミ製の減少が続いており、一戸当たりのアルミ建材重量は減少傾向となっていることから、平成30年度の木造住宅用サッシの需要を前年度比▲0.4%の108千トンと予測しました。

2. ビル用サッシ

平成30年度の非木造分野は、東京オリンピック・パラリンピックに向けて首都圏における需要は引き続き堅調なもの、地方では職人不足や建築コストの上昇などから厳しい環境が続いており、非木造床面積を76,200千㎡(前年度比▲1.6%)と見込みました。

よってビル用サッシ需要も、前年度比▲1.3%の92千トンと見込みました。

以上のことから、アルミ建材需要全体では、前年度比▲0.5%の371千トンと予測しました。